

授業科目名	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	単位数	4単位
担当教員名	堀越由紀子	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
「学位授与の方針」との関係			
該当なし			
授業のテーマ及び到達目標			
この授業のテーマはミクロからマクロまでの次元で行われるソーシャルワーク実践について、「ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕」に続く内容を体系的に理解することである。到達目標としては以下の項目が挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実践について理解する。 ・ソーシャルワークにおける援助関係の形成について理解する。 ・社会資源の活用・開発とソーシャルアクションについて理解する ・組織内外で行われるソーシャルワーク実践に関連する技法を理解する。 			
授業の概要			
「ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕」に続くソーシャルワークの発展内容を学習する。			
授業計画			
<p>第1回 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実践とは ・ジェネラリスト・ソーシャルワークの枠組み <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.2-21 <p>第2回 ソーシャルワークにおける援助関係の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化・複雑化した生活課題への対応のプロセスとスキル ・ソーシャルワークにおける援助関係の形成：援助関係の形成方法、 <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.92-118 ・面接技術 <ul style="list-style-type: none"> * テキスト①p.186-207 ・ライフモデルのソーシャルワーク 資料は別途提示する。 <p>第3回 家族支援の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.22-44 <p>第4回 ソーシャルアドミニストレーションとその遂行</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト①p.302-315 <p>第5回 他者との協力、協働のためのスキル カンファレンス、ファシリテーション、</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.190-220、p.277-287 <p>第6回 他者との協力、協働のためのスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> * ネゴシエーション テキスト②p.252-263 * コンフリクトレゾリューション テキスト②p.264-276 <p>第7回 組織内外におけるソーシャルワークとネットワークング</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.120-149 <p>第8回 コミュニティワーク：地域福祉実践のプロセスと課題</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト①p.280-300 <p>第9回 地域支援の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援・重層的支援～分野や領域を超えた課題への対応、地域支援の実践 <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②第1章p.45-68 ・非常時や災害時における対応 <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②第1章p.69-90 <p>第10回 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.152-188 <p>第11回 ソーシャルアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト①p.318-337 <p>第12回 ソーシャル・マーケティング</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.301-315 <p>第13回 事例の分析・検討・研究、プレゼンテーション、リサーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト②p.222-250、p.288-300 <p>第14回 利用者の主体性を引き出す支援と当事者研究</p> <ul style="list-style-type: none"> * テキスト①p.275-277 <p>第15回 共生社会とソーシャルワーク</p>			
スクーリングでの学修			
1 回目：ジェネラリストソーシャルワークの理論と方法について学習する。 2 回目：社会資源の活用・調整と開発、ソーシャルアクションなどの方法・技法について学習する。			
テキスト			
<p>◎一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集（2021）『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座12・ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕』中央法規 ISBN-13：978-4805882429</p> <p>◎一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集（2021）『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座6・ソーシャルワークの理論と方法〔社会専門〕』中央法規 ISBN-13：978-4805882498</p> <p>◎鈴木孝典・鈴木裕介編著（2023）『図解でわかるソーシャルワーク』中央法規 ISBN-13：978-4805889589</p>			
参考書・参考資料等			
<p>◎木下大生 他（2019）『ソーシャルアクション！あなたが社会を変えよう！：はじめの一歩を踏み出すための入門書』ミネルヴァ書房 ISBN-13：978-4623086061</p> <p>◎坂本いづみ他著（2021）『脱「いい子」のソーシャルワーク——反抑圧的な実践と理論』現代書館 ISBN-13：978-4768435823</p> <p>◎井出英策他著（2019）『ソーシャルワーカー』ちくま新書、筑摩書房 ISBN-13：978-4480072474</p> <p>◎西智弘 他（2020）『社会的処方：孤立という病を地域のつながりで治す方法』学芸出版社 ISBN-13：978-4761527310</p>			
学生に対する評価			
レポート評価（30%）、スクーリング評価（40%）、科目修得試験（30%）			